

天地玄黄宇宙洪荒日月盈昃辰宿列張寒來暑往秋收冬藏閏余成歲律呂調陽雲騰致雨露結為霜  
 金生麗水玉出崑岡劍号巨闕珠称夜光果珍李奈菜重芥薑海鹹河淡鱗潛羽翬龍師火帝鳥官人皇  
 始制文字乃服衣裳推位讓國有虞陶唐弔民伐罪周發殷湯坐朝問道垂拱平章愛育黎首臣伏戎羌  
 遐邇志体率寶婦王鳴鳳在樹白駒食場化被草木賴及万方蓋此身髮四大五常恭惟鞠養豈敢毀傷  
 女慕貞絜男効才良知過必改得能莫忘罔談彼短靡恃己長信使可覆器欲難量墨悲糸染詩讚羔羊  
 景行維賢克念作聖德建名立形端表正空谷伝声虛堂習聽禍因惡積福緣善慶尺璧非宝寸陰是競  
 資父事君曰嚴与敬孝当竭力忠則尽命臨履薄冰夙興溫清似蘭斯香如松之盛川流不息淵澄取映  
 容止若思言辭安定篤初誠美慎終宜令崇業所基藉甚無竟學優登仕撰職從政存以甘棠去而益詠  
 榮殊貴賤礼別尊卑上和和睦夫唱婦隨外受傳訓入奉母儀諸姑伯叔猶子比兒孔懷兄弟同氣連枝  
 交友投分切磨箴規仁慈隱惻造次弗離節義廉退顛沛匪虧性静情逸心動神疲守真志滿逐物意移  
 堅持雅操好爵自縻都邑華夏東西二京背芒面洛浮渭拋涇宮殿盤鬱樓觀飛鸞寫禽獸画絲仙靈  
 丙舍傍啓甲帳对楹肆筵設席鼓瑟吹笙升階納陛弁軫疑星右通広内左達承明既集墳典亦聚群英  
 杜稿鍾隸漆書壁經府羅將相路俠槐柳戸封八閩家給千兵高冠陪輦駸駸振纓世祿侈富車駕肥輕  
 策功茂矣勒碑刻銘礪溪伊尹佐時阿衡奄宅曲阜微且孰管桓公匡合濟弱扶傾綺回漢惠說感武丁  
 俊义密勿多士寔寧晋楚更霸趙魏困橫佞途滅號踐土會盟何遵約法韓弊煩刑起翦頗牧用軍最精  
 宣威沙漠馳譽丹青九州禹跡百郡秦并岳宗恒岱禪主云亭雁門紫塞鷄田赤城昆池碣石鉅野洞庭  
 曠遠綿邈巖岫杳冥治本於農務茲稼穡載南畝我芸黍稷稅熟貢新勸賞黜陟孟軻敦素史魚秉直  
 庶幾中庸勞謙謹勅聆音察理鑑貌辨色貽厥嘉猷勉其祇植省躬識誠寵增抗極殆辱近恥林阜幸即  
 兩疏見機解組誰逼索居閑处沈默寂寥求古尋論散慮逍遙欣奏累遣誠謝欲招渠荷的歷園莽抽条  
 枇杷晚翠梧桐早彫陳根委翳落葉飄颻獨運凌摩絳霄耽詠翫市寓目囊箱易輜攸畏屬耳垣牆  
 具膳餐飯適口充腸飽飲亨宰飢厭糟糠親戚故旧老少異糧妾御績紡侍巾帷房執扇円潔銀燭焯煌  
 昼眠夕寐藍笋象床弦歌酒讌接杯奉觴矯手頓足悅予且康嫡後嗣統祭祀蒸嘗稽顙再拜悚懼恐惶  
 賤牒簡要顧答審詳骸垢想浴執熱願涼驢驘特駭躍超驥誅斬賊盜捕獲叛亡布射遼丸稽琴阮嘯  
 恬筆倫紙鈞巧任鈞矜紛紛俗並皆佳妙毛施淑姿工顰妍咲年矢每催義暉朗曜旋璣懸幹晦魄環照  
 指薪修祔永綏吉劭矩步引領俯仰廊廟束帶矜莊徘徊瞻眺孤陋寡聞愚蒙等諛謂語助者焉哉乎也

とりなくこゑすゆめさませみよあけわたるひんかゝをそらいろはえておきつへにほふねむれおぬもやのうち  
 トリナクコエスユメサマセミヨアケワタルヒンカシヲソライロハエテオキツヘニホフネムレキヌモヤノウチ



CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.  
 The quick brown fox jumped over the lazy dogs.

# 和字書体の変遷とその復刻

## ひのもと体

### ◆めばえ体

『漢文体系系統』は、おもに仏教や儒教など学術関係の書物にもちいられ、おもに楷書体系系統の漢字とカタカナで書きしるされてきた。このカタカナの書体に対応したひらがなの登場は、おそらく本居宣長（一七三〇—一八〇一）らの国学者によって実践されたものだと考えられる。

『字音仮字用格』（一七七六年、錢屋利兵衛ほか）は漢字カタカナ交じり文だがひらがなもみられる。文政年間に書かれた伴信友（一七七三—一八四六）の『仮字本末』（一八五〇年、三書堂）の木版印刷本は漢字ひらがな交じり文だが、楷書体に組み合わせている。

これは蘭学にも影響を及ぼしているようだ。大島圭介（一八三三—一九一）の活字をもちいて印刷した書物のうち、『歩兵制律』（一八六五年、陸軍所）だけは、漢字ひらがな交じり文になっている。

▽和字書体「もとい」「うえま」「ひふみ」「さきがけ」「あおい」

### ◆いぶき体

明治時代の金属活字では、躍動感のあふれる書風があらわれる。「オールド・スタイル」ともいう。

その代表が東京築地活版製造所の前期五号和字書体だろう。香月薫平著『長崎地名考』（一八九三年、虎興號商店）に使われている。工部省勸工寮活版所はその後の幾多の変遷を経て内閣印刷局（現在の国立印刷局）となったが、『内閣印刷局七十年史』（一九四三年）には、その完成型と考えられる和字書体が使われている。活版製造所弘道軒の和字書体は尾崎紅葉著『二人比丘尼色懺悔』（一八九九年、吉岡書籍店）に使われている。

石井研堂著『少年工芸文庫』（一九〇二年、博文館）は秀英舎で印刷されているが、その本文には秀英舎の前期四号和字書体が使用されている。国光社は多くの教科書を発行している大手教科書会社で、国光社活字とよばれる書体を独自に開発しており、その版下を吉田晩

稼（一八三〇—一九〇七）が書いた。青山進行堂活版製造所の『富多無可思』（一九〇九年）の「自叙」は四号楷書体活字、「跋」は四号明朝体活字で組まれているが、和字書体は共通で、しかも東京築地活版製造所の後期四号和字書体と一致するようだ。

▽和字書体「きざはし」「かもめ」「はやと」「はなぶさ」「さおとめ」「まどか」「にしき」

### ◆さかえ体

昭和前期には、漢字書体の明朝体と組み合わせられて洗練された静的な書風が完成された。「ニュー・スタイル」ともいう。

活字書体の制作は、活字鑄造会社系と印刷会社・出版社系とにわけられる。活字鑄造会社系とは一般に販売するために制作された。印刷会社・出版社系というのは自社の印刷物・出版物専用として制作した。とりわけ明朝体と組み合わせることを目的とした本文用和字書体でしるぎを削ってきた。精興社明朝体、三省堂明朝体が整備されている。『日本印刷需要家年鑑』（一九三六年、印刷出版研究所）のなかに「組版・印刷・川口印刷所 用紙・三菱製紙上質紙」と明記されたページが一六ページあるが、これに用いられた活字が川口印刷所九ポイント活字だ。

太平洋戦争後の一九四六年（昭和二年）から一九五〇年（昭和五年）までの約四年間、北海道では札幌市を中心として出版ブームがおこった。興国印刷では『新考北海道史』（一九五〇年、北方書院）の「序」と「まえがき」にもちいられた活字がある。青岳文章著『書物の世界』（一九四九年、朝日新聞社）は京都の内外印刷で印刷・製本されている。

▽和字書体「たおやめ」「ほくと」「たいら」「あずま」のみ

### ◆ゆたか体

新聞書体のように、ふところが大きくなった書体を「モダン・スタイル」という。一般に新聞用書体というときには扁平の本文書体をさすが、新聞に扁平活字が本格的に登場したのは太平洋戦争がはじまった一九四一年（昭和十六年）のことで、「九州タイムズ」（一九四六年）にもみられる。

昭和三〇年代の一般印刷用書体のなかにもそのスタイルを色濃く反映しているものがある。それは『死を開

く扉』（一九五九年、浪速書院）にみられる。

▽和字書体「うぐいす」「ひばり」「めじろ」

### ◆かなめ体

福沢諭吉（一八三五—一九〇）は一八七一年（明治四年）に『啓蒙手習之文』（慶応義塾出版）を刊行しているが、その版下は内田晋斎が揮毫した。

教科書に金属活字が一般的に採用されるようになるのは、他の書物にくらべて遅れていた。一九三三年（昭和八年）まではおおむね木版印刷によった。『尋常小学修身書巻三』（一九一九年、東京書籍）は彫刻風の力強い書風である。

▽和字書体「まき」「ふみて」「まなぶ」「さくらぎ」

教科書に使用される、いわゆる文部省活字の版下を書いたのが井上千圃（一八七二—一九四〇）だ。この活字は一九三五年（昭和一〇年）発行の『小学国語読本巻五』にはじめて使用された。教科書専用として制作されたために、のちに「教科書楷書体」「教科書体」とよばれるようになった。

▽和字書体「しおり」

### やまと（夜麻登）体

平安中期から後期にかけて栄えた貴族文化を「国風文化」という。和語と和文で作られた国文学が平安時代の文化の機軸で、『古今和歌集』『和漢朗詠集』の写本が優美な和字書体で多く残されている。鎌倉時代の文化を「鎌倉文化」といつている。京都は文化の担い手としての公家の都となった。藤原定家（一一六二—一二四）は個性的な書風を確立した。

室町初期の第三代將軍足利義満のころの文化を「北山文化」という。芸能が豊かな展開をみせて、伝統として受け継がれるような成熟に到達した。芸能とは人間の身体で表現する技法と型の伝承をいい、歌謡・舞踊・演劇などがある。室町幕府第八代將軍足利義政のころの文化を「東山文化」という。室町時代から江戸初期に流行した物語類は御伽草子あるいは室町物語ともいわれるが、その一部は挿絵入りの短編物語の「奈良絵本」の形で伝来している。

▽和字書体「あけぼの」「やぶさめ」「たかさご」「さよひめ」

安土桃山時代は、一面では南蛮文化の時代だった。アレックスandro・ヴァリニャーノ（一五三〇—一六〇六）により印刷機、活字、その他の印刷機材一式が持ち込まれ、キリシタン版の印刷がはじまった。

本阿弥光悦（一五五八—一六三七）と角倉素庵らが、慶長年代から元和年代にかけて木活字をもちいて用紙・装丁に豪華な意匠を施して刊行した美本が「嵯峨本」である。

▽和字書体「ばてれん」「さかの」

元禄年間の文化を「元禄文化」という。この時代には上方の経済がめざましい発展をとげた。大坂と京都を中心に町人層が新しい文化の担い手になり、庶民の生活や心情を描いた上方文学が生まれた。そこにおおきな足跡を残したのが、浮世草子の井原西鶴（一六四二—一九三）、浄瑠璃の近松門左衛門（一六五三—一七二四）、俳諧の松尾芭蕉（一六四四—一九四）の三人だ。文化・文政年間の文化は「化政文化」といわれている。江戸の都市機能がととのい、上方とは違う文化が形成されるようになった。文化の中心も上方から江戸に移り、江戸では粋や通を尊び、軽快・洒脱を好む傾向があった。文学では元禄時代の上方文学と区別して、江戸文学とよばれる。読本・洒落本・滑稽本・人情本・黄表紙・合巻がうまれ、柳亭種彦（一七八三—一八四二）らが登場した。

▽和字書体「げんろく」「なにわ」「すずのや」「えど」

本木昌造が一八七〇年（明治三）に、新街私塾のなかに創業した新街活版所の和様活字の版下を揮毫したのが池原香釋（一八三〇—一八八四）だった。江川活版製造所の行書体活字は書家の久永其頼（生没年不詳）が版下を揮毫した。大阪の岡島活版所において製造されていた行書体活字は湯川梧窓（一八五六一—一九二四）が版下を揮毫した。

明治時代の書壇では、わが国の固有の文化を守り進展させようという動きが起き、一八九〇年（明治二三）、平安時代の書風研究を目的として「難波津会」が創立された。「横倉落合大人之碑」（一八九一年）を書いた阪正臣（一八五五—一九三）らが、その後の展開に重要な役割を果たした。

▽和字書体「いけはら」「ひさなが」「ゆかわ」「いしぶみ」

平安

桃山

江戸

明治

昭和

昭和

ひのもと体

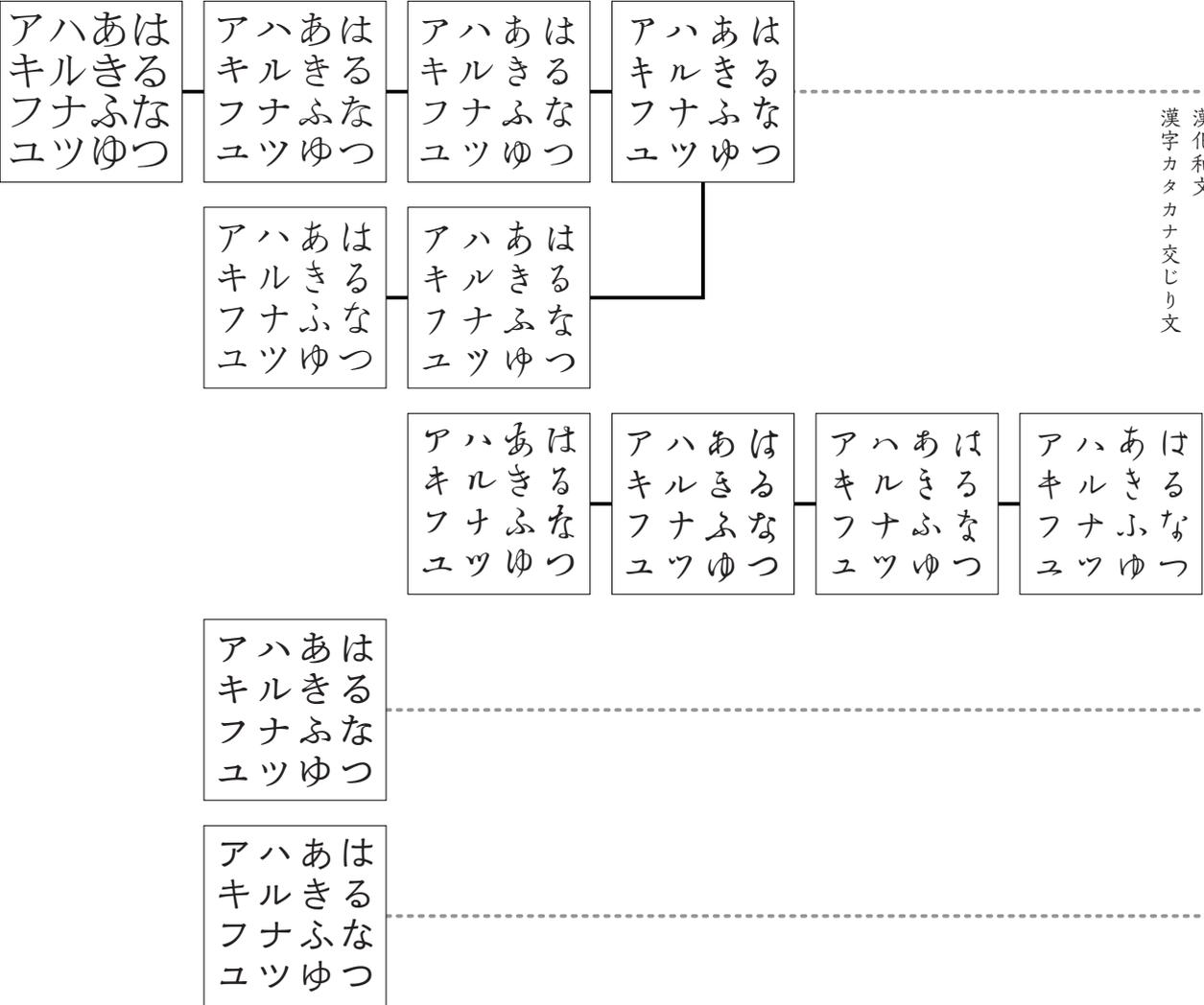
漢文  
漢化和文  
漢字カタカナ交じり文

やまと体

ひらがな文

えみし体

くまそ体



えみし(愛弥詩)体

アメリカからの書体「antique」からの影響を受けて制作され、辞書などの見出し語として用いられた和字書体がある。一般的には欧字書体の名称を流用したアンチック体と呼ばれているが、和字書体としては「えみし(愛弥詩)体」と呼ぶことにする。たとえば「の」の頂点がほぼ同じ大きさになっているのが「えみし体」である。

『辞苑』という国語辞典が一九三五年(昭和十年)に博文館から出版され、大ベストセラーとなった。「アンチック体」の項目で「本辞典の項目に用いた見出しのかな文字がアンチック体である」とされている。

▽和字書体「みなもと」「たまゆら」「ことのは」

くまそ(珠磨曹)体

明治時代以降にアメリカから伝来した書体「gothic」の影響をうけて制作されたとおもわれる新様式の書体があらわれた。一般的には欧字書体の名称を流用したゴシック体と呼ばれているが、和字書体としては「くまそ(珠磨曹)体」とよぶことにする。「くまそ体」は、水平垂直を基本とした筆法に特徴がある。カタカナ「口」を例にすると、横線が右上がりにならないで水平になっている。

『活版見本』(一九〇三年、東京築地活版製造所)に「五号二分ノ一ゴチックひらがな」および「五号ゴシックカタカナ」が掲載されている。さらに『活版総覧』(一九三三年、森川龍文堂活版製造所)、『活字見本帳』(一九三六年、民友社活版製造所)など各社の活字見本帳にもそれぞれゴシック体(ゴチック体)が掲載されている。

書写ゴシック体は、大正時代に謄写版印刷において草間京平(一九〇一〜七〇)によって考案された「沿溝書体」によって確立した。『沿溝書体スタイルブック』(一九五二年、日本孔版文化の会)に見られる。

▽和字書体「くらもち」「はるか」「くれたけ」「くろふね」「ますらお」「めぐる」

太平洋戦争









# 漢字書体の変遷と

## その復刻

石の書物から—楷書体・隸書体・行書体

### ●石の書物

中国・漢代(前二〇二—二〇)には篆書が衰え、実用に便利な隸書が勢力をえた。隸書は秦代には補助的につかわれていたが漢の公式書体となった。一七三年(熹平)に東漢の靈帝が今まで伝えられた経書の標準のテキストを定めたのが「熹平石經」である。

三蔵法師玄奘の翻訳完成を記念して、僧・懷仁が王羲之の行書筆跡から一文字一文字集めて文をつくり、あたたかも王羲之が書いたように配列したのが「集王聖教序」である。六七二年に碑刻され、太宗・李世民的序、高宗・李治による記、ならびに玄奘の翻訳になる般若心經から構成されている。

「開成石經」は唐の文宗皇帝・李昂が命じ、八三〇年(太和)から八三七年(開成)までに艾居晦らの写字生によって真書(楷書)で刻まれたものである。当時この石經は長安城務本坊の中に置かれ、国子監の学生と科擧の受験者の勉強にもちいられた。

▽漢字書体「洛陽」「聖世」「開成」

### ●清代の刊本書写体

清代の私刻本の多くは手書きの文字が忠実に彫られた写刻本で、印刷もよく校正も厳密であった。とりわけ林信によって刊行された『漁洋山人精華録』は精刻本とよばれて、明代中期の実用的な書に影響された典雅な字様と細密な刊刻は、当時の蔵書家に愛好された。中国・清朝の乾隆帝は、元朝の趙子昂の書を正当な流派として愛好したという。北京の春暉堂が刊行した『菊譜』(一七五八年)・春草堂が発行した『人參譜』(一七五八年)には、趙子昂の書風にもちい流麗な行書がつかわれている。

牌記とは、書籍の扉或いは巻末にある枠の付いている題識文字を指し、牌、書牌、木記とも称す。『河岳英靈集』(一八七八年)の牌記には端正な隸書体が使われている。

▽漢字書体「林信」「花信」「月光」

## 宋朝体と明朝体の系統

### ●宋朝体

宋朝体は、中国の宋代(九六〇—一二七九)の木版印刷にあらわれた書体である。唐代に勃興した印刷事業が宋代に最高潮に達し、また唐代の能書家の書風は宋代の印刷書体として実を結んだ。浙江、四川、福建が宋代における印刷事業の三大産地であり、それぞれが独自の宋朝体をうみだした。

浙江地方の刊本は、初唐の歐陽詢(五七—六四)書風による字様である。『姓解』は伝本の稀な北宋刊本の中の一つで、中国にも所在を見ない。

四川地方の刊本は、中唐の顔真卿(七〇—七八)書風による字様である。『周礼』は中国の儒教教典のひとつだが、蜀(現在の四川省)の刊本は蜀大字本として名高いものである。

福建地方の刊本は、晩唐の柳公権(七七八—八六五)書風による字様である。建陽の麻沙鎮、崇化鎮の二地区にあった書坊は「凶書の府」ともよばれていたそうだが種類も豊富で、出版部数も多く、流通範囲も広いものであった。

▽漢字書体「西湖」「龍爪」「麻沙」

南宋の時代(一一二七—一二七九)にはいると、唐から北宋にかけての名家による詩文集や文学書の刊行が中心になっていった。首都であった臨安城中の棚北大街には多くの書坊が建ち並んでいた。その刊本は「臨安書棚本」と呼ばれる。そのなかでも陳起(生没年不詳)による陳宅書籍舗が刊行した書物は注目をあびた。陳宅書籍舗では整然として硬質な字様を完成させ、この字様によって、書写から独立した「工芸の文字」が誕生することになった。

▽漢字書体「陳起」

### ●明朝体

明朝体とは中国の明代(一三六八—一六四四)の木版印刷にあらわれた書体である。はじめは臨安書棚本の覆刻において筆画の直線化がすなみ表情のかたい書体があらわれた。一五五三年(嘉靖三十二年)に刊刻された『墨子』においては、すでに明朝体の基礎が形成されていた。明朝後期の万暦年間(一五七三—一六一九)から刊本の数量が急速に増加し、製作の分業化が促進された。代表

的なものに南京国子監出版の刊本すなわち南監本がある。『南齊書』(一五八九年)はそのひとつだ。

一五八九年(万暦一十七年)から刊刻された『嘉興藏』(一五八九年)は一般に明版大藏經といわれ、方冊型で見易いところから広く用いられた。大藏經とは、仏教の聖典を総集したものである。経藏・律藏・論藏の三藏を中心とし、それらの注釈書を加えたもので、藏經とも一切經ともいわれる。宇治・黄檗宗萬福寺の『鉄眼版一切經』(一六七八年)もこれを底本としている。

中央機関のほかに地方での官刻も盛んに行われた。なかでも鄭藩で刊行された『樂律全書』(一五九五年)は、藩刻本の代表作のひとつだといえることができる。

明末清初の代表的蔵書家であり出版者として知られているのが毛晋(一五九九—一六五九)である。六五〇種以上の刊本が出版されたが、もつとも世に知られているのは独特な書写の風格のある明朝体であり、『宋名家詞』(一六二—四四年)がその代表例である。

▽漢字書体「金陵」「嘉興」「鳳翔」「毛晋」

### ●過渡期明朝体

過渡期明朝体とは、中国の康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代の銅活字、木活字印刷にあらわれた書体である。

清朝の雍正年間(一七二—一七三五)には、康熙帝の時代から編纂されていた『古今圖書集成』(一七二六年)が銅活字で刊行された。この活字は乾隆帝によって一七四四年に鋳つぶされたために、結局は『古今圖書集成』でしか使われていない。

清朝におけるもつとも盛大な編纂計画は乾隆年間(一七三五—一七九五)の時代に完成した字本の『四庫全書』である。さらに乾隆帝は『四庫全書』のなかから重要な書物を選んで、木活字で大量に印刷させた。刊行責任者の金簡が木活字による刊行を提案し、乾隆帝によって採用されたものである。金簡は、この木活字の製作と印刷作業の過程と経験をまとめて、詳細な文章と明瞭な挿し絵で『武英殿聚珍版程式』(一七七六年)という印刷専門書を著している。

清代における木活字は『武英殿聚珍版双書』の影響で各地に浸透した。そのひとつが一七七六年(乾隆五十一年)に程偉元(一七八—一八二)の萃文書屋によって刊行された曹雪芹(一七五—一七六二)作の口語体長編小説『紅樓夢』である。

▽漢字書体「武英」「聚珍」「宝玉」

### ●近代明朝体

近代明朝体活字は、一九世紀前半に上海や香港にあったロンドン伝道会と北米長老会によって製作された。北米長老会の印刷所であった上海・美華書館においては木製種字と電鍍母型という活字製造法が考案された。ただし、近代明朝体という書体は、ヨーロッパ人が創作したのではなく、中国の康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代の銅活字、木活字印刷の書体が変化していったのだと考えられる。

▽漢字書体「美華」

## 元朝体

元朝体は、元代の福建地方の民間出版社からつくられた書体である。中国・元代(一二七—一三六八)は漢民族圧迫政策により書物の出版にはきびしい制限が加えられたが、それでも福建地方の民間出版社では多くの書物を刊行している。その刊本字様は趙子昂(一二五—一三二)の書風によるとされる脈絡を残した書体である。勤有書堂の『分類補註李太白詩』(一三二〇年)は元時代の建安刊本の特徴があらわれている。

▽漢字書体「志安」

## 清朝体

清朝体とは、中国・清代(一六一—一九一)の武英殿および地方官庁の木版印刷にあらわれた刊本字様といえることができる。

康熙年間(一六二—一七二)には紫禁城(現在の故宮)の西華門内の武英殿に編纂所が設けられた。初期の武英殿刊本においては、康熙帝の書のまますを忠実に彫らせていたようである。その代表例が『御製文集』(一七一一年)である。

武英殿刊本をしのぐ品質とされる地方官庁による官刻本がある。曹寅(一六五—一七二)が主管した揚州詩局で刊行されたもので、代表的なものが、康熙帝の命により編纂された唐詩全集の『全唐詩』(一七〇七年)である。

嘉慶帝の救命により董誥らが編纂した唐・五代散文の総集である『全唐文』(一八一八年)が揚州詩局から刊行されている。

▽漢字書体「熱河」「瑩雪」



金陵M

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

金陵B

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

銘石M 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

銘石B

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

龍爪M

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

龍爪B 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

方広M 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

方広B K 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

陳起M 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

志安M 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

武英M 開發中

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

堂雪M

哀愛以意一影園音夏家花賀皆外格樂  
幹漢願喜起義恭謹九迎月見元現戶五  
御厚好幸広江降国在三山殘四賜字時  
自七借種秋十春初暑情新申人世成正  
西族統代中鳥庭的哲怒冬同独南二日  
年八般表舞風福文平變北本脈夢明樣

西湖 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

龍爪 M

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

麻沙 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

陳起 M 開卷中

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

志安 M 開卷中

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

金陵 M

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

鳳翔 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

嘉興 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

毛晉 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

武英 M 開卷中

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

聚珍 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

宝玉 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

熱河 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

瑩雪 M

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

美華 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

洛陽 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

月光 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

聖世 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

花信 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

開成 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

林信 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

銘石 M 開卷中

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

端午 M 試作

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

方広 M 開卷中

以意一影園音外格幹漢起義現戶  
江降国在山字時自借種十人世西代  
中庭的哲同独日般表本脈明樣用來

泰山 參考

皇帝劉血世世臣廿八季必祥漢  
豐韓齋山東訓臣忠中原德昭譚謝於  
造像 參考

太和十九年十一月使持節司空公長  
樂王丘穆陵亮夫人尉遲為亡息牛櫛  
詩草 參考

多地多莫字宙洪道日月身六居富到  
張字未多佳秋收冬花玉錦米身佳  
臨泉 參考

天地玄黃宇宙洪荒日月盈昃辰宿列  
張寒來暑往秋收冬藏閏餘歲歲律呂  
正楷 參考

子曰學而時習之不亦說乎有朋自遠  
方來不亦樂乎人不知而不愠不亦君  
傲宋 參考

余嘉慶丁卯歲與鏡海先生同舉於鄉  
以文章相切廟嗣先生官翰林余貽書  
上海 參考

今音韵書淵源於魏晉集成於隋唐而  
皆已無存宋代廣韻一書實循隋唐韵  
伯林 參考

日本東京橫濱大坂新瀉府縣商會鐵  
道郵便母型製造器械印刷活版字體  
倫敦 參考

電話番號第拾九番閏四月廿五日  
基督教聖書第八章耶穌神靈千萬類  
羅馬 參考

謹賀新年併厚誼情尚不相變倍舊御  
愛顧眷願新禧春候祈貴家萬福將來  
紐育 參考

謹賀新年併厚誼情尚不相變倍舊御  
愛顧眷願新禧春候祈賀正恭賀新年  
巴里 參考

竹笑第等答算箱範築籍米粉粒粘  
粧精糊糖糰系紀約紅絆納紋結絕統

謹賀新年併厚誼情尚不相變倍舊御  
愛顧眷願新禧春候祈賀正恭賀新年

謹賀新年併厚誼情尚不相變倍舊御  
愛顧眷願新禧春候祈賀正恭賀新年

謹賀新年併厚誼情尚不相變倍舊御  
愛顧眷願新禧春候祈賀正恭賀新年

# 欧字書体の変遷とその復刻

## ローマン体

### ●ヴェネチアン・ローマン体

ヒューマニストがおおく集まり、印刷の需要が高まっていたヴェネチアに最初の印刷所を設立したのは、ドイツ人の兄弟ジョン・スピラ（?ー1470）とウエンドリン・スピラ（?ー1470）だった。そして、ヴェネチアン・ローマン体を完成させたのは、フランス人の印刷者ニコラ・ジェンソン（1420?ー1480）である。スピラ兄弟の活字書体よりも洗練されて読みやすい活字書体がジェンソンによって設計され、こんにちのローマン体の元祖とされるヴェネチアン・ローマン体が完成の域に達した。

### ▽Aries \*Kinkido version of Janson

●オールド・ローマン体  
アルダス・マヌティウス（1449-1515）の工房で出版された『デ・エトナ』（1495-1496）に使われた活字書体はオールド・ローマン体の成立を決定づけた。この活字書体は活字父型彫刻師フランチェスコ・グリフォ（1450?ー1518?）の手になるもので、ヴェネチアン・ローマン体にもみられる個人的な書風が抑制されている。『ポリフィラスの夢』（1499）では『デ・エトナ』に使われた活字を改刻して、大文字がより威厳を増している。

人文主義者のジョフロア・トリイ（1480-1533）はアルダス工房の古典文学の書物に注目した。それらの活字の研究をすすめられたクロード・ギヤラモン（?ー1546）らとともにこれらの活字を分析した。完成したギヤラモンの活字は『ミラノ君主ヴィスコンティ家列伝』（1549年）など、パリの印刷人によって多くの書物にもちいられた。

### ▽Taurus \*Kinkido version of Garamond

一七世紀のオランダを代表する活字父型彫刻師としてクリストフェル・ファン・ダイク（1601-1669）が

いる。当時最高水準にあったアントワープのプランタン印刷所で、ギヤラモン活字をしつかりと研究していたと推測される。

オランダのオールド・ローマン体は、独特の黒みや骨格の頑丈さをもっているために、現在では「ダッチ・オールド・ローマン」と呼ばれている。

ウィリアム・キャズロン（1692-1766）の活字はアムステルダム父型彫刻師ディルク・ヴォスケンスの活字をモデルにしたといわれるが、その武骨な特質を穏やかにして洗練さをくわえたことによって「イギリス風で快い」という称賛をえた。

### ▽Gemini \*Kinkido version of Caslon

### ●トランジショナル・ローマン体

トランジショナルとは「過渡期の」という意味で、オールド・ローマンからモダン・ローマンへの過渡期のローマン体ということである。

イギリスのジョン・バスカーヴィル（1706-1759）の活字は、オールド・ローマンの影響を残しながらも、コントラストを強めた水平垂直にちかい骨格になっている。一七五七年に出版された『田園詩と農事詩』はバスカーヴィル活字で組まれている。一七二一フランスのピエール・シモン・フルニエ（1721-1796）の活字は、バスカーヴィルの活字と同様に、縦横比の大きく均質で整理された線という特徴もっている。フルニエは印刷活字のためのポイント・システムを考案している。

### ▽Cancer \*Kinkido version of Baskerville

### ●モダン・ローマン体

フランスのフェルミン・ディード（1764-1836）によってステムが直線的に構成されるという特徴がある新しい活字書体が設計された。つづいてジャンバテスタ・ポドニ（1740-1813）によってパルマ公国印刷所のあたらしいローマン体が設計された。極細でブラケットのないセリフにして、コントラストのつよい直線的で機械的な外観をつくった。

イギリスのリチャード・オースティン（?ー1830）は、ウィリアム・ミラー活字鑄造所のために活字書体を手がけた。1909年にモノタイプ社で再刻され、1936年に「スコッチ・ローマン」となった。

### ▽Leo \*Kinkido version of Bodoni

### ●二十世紀のローマン体

リン・ポイド・ベントン（1844-1932）の代表的な活字書体がテオドル・ロウ・デ・ヴェイネ（1828-1914）と共同で作った「センチュリー」である。フレデリック・ウィリアム・ガウディ（1865-1947）は「ガウディ・オールドスタイル」「ガウディ・モダン」を制作している。

イギリスを代表する新聞「ザ・タイムズ」紙に使用された「タイムズ・ニュー・ローマン」を設計したのがスタンリー・モリス（1889-1967）だ。ドイツの書籍印刷の業界団体により、ヤン・チヒョルト（1902-1974）が設計したのが「サボン」である。

### ▽Virgo \*Kinkido version of Century Oldstyle

### イタリック体

チャンセリー・カーシヴはローマ教皇庁に勤める書記官が様式化したルネサンス期の書法だ。チャンセリーとは教皇庁と教会とをむすぶ通信機関をさすことばで、カーシヴとは筆記体をあらわしている。チャンセリー・カーシヴは、のちにチャンセリー・バスタルダとよばれるようになった。はじめに金属活字として鑄造したのがヴェネチアの印刷人アルダス・マヌティウスと、活字父型彫刻師フランチェスコ・グリフォだ。チャンセリー・バスタルダの最大の特徴である「筆記による傾斜」は小文字にだけ採用されて、大文字は直立したローマン体の伝統が受け継がれていた。

一六世紀には、手書き書法によるチャンセリー・バスタルダも様式化がすすめられて、イタリアのルドヴィコ・デリ・アリッジ（1490?ー1527）がこの書法をもちいた。これらがフランスにつたわると、チャンセリー・バスタルダ活字は、フランスにおいては「イタリアの」つまり「イタリック」と呼ばれるようになった。このイタリック体活字を、さらに完成に導いた人物が活字製作者ロベール・グランジョン（1513-1890）である。

### ▽Libra \*Kinkido version of Italic

### スクリプト体

チャンセリー・バスタルダは印刷用活字書体として成

立し、イタリック体として発展していったが、その一方で、個人的で優美な曲線への欲求は銅版印刷へとむかっていった。ルイ・バルブドールとルイ・スノーは伝統的書法を受け継ぐとともに、「シヴィリテ」の系譜の文字「ロンド」も書いている。

ピエール・シモン・フルニエは、書家ロシニョールの手書き文字をもとにした活字を「バスタルダ・クウレ」となげけている。「ラウンド・ハンド」を代表するのがイギリスの書家であるチャールズ・スネル（1667-1733）だった。二〇世紀では、ステイヴンソン・ブレイク社が発売した「パレス・スクリプト」がある。

### ▽Scorpio \*Kinkido version of Script

### ブラック・レター体

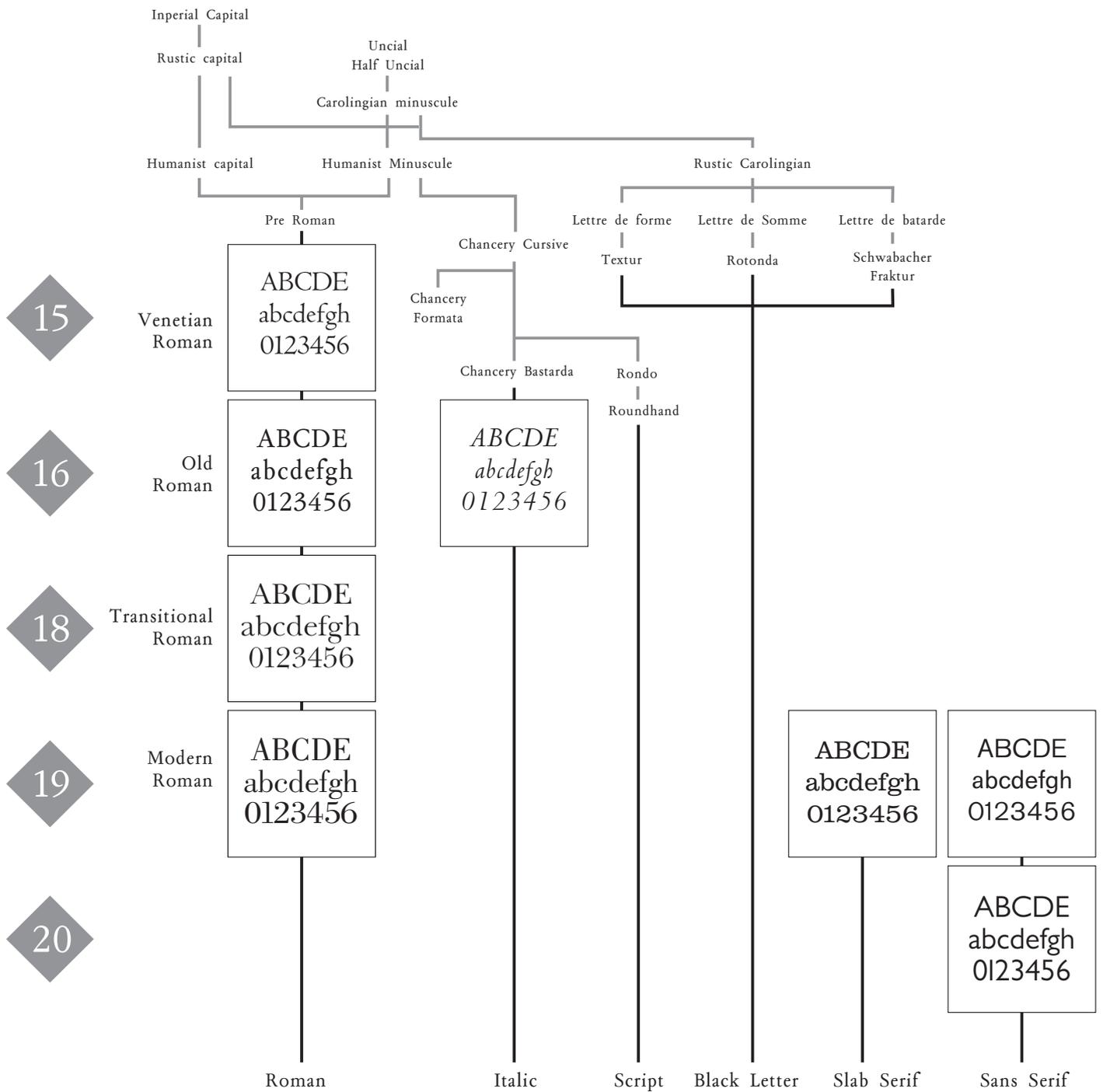
一〇世紀から一一世紀になると、アンシャル系のカロリング・ミナスキエールはラスティック・キャピタルと結合して様式化がすすみ、各地の写字生によって地域的な特徴がくわえられた。一五世紀には、教会専用の公式書体「レットレ・フォルム」という先のとがった書体と非公式書体の「レットレ・スナマ」という丸みを帯びた書体が生まれ、フランスの法令文書用書体「レットレ・パタルダ」という書体があらわれた。「レットレ・フォルム」からは、のちに「テクストゥール」とよばれるブラック・レター体が誕生した。イタリアにつたわった「レットレ・スナマ」系の書体がロンドンである。「レットレ・パタルダ」を原型にしてうまれたのがシュバビヤとフラクトゥールである。

### ▽Ophiuchus \*Kinkido version of Textur

### スラブ・セリフ体

スラブ・セリフ体の先駆として、「アンティーク」があげられる。キャズロン活字鑄造所で働いていたトーマス・コットレ（?ー1785）の弟子ロバート・ゾーン（1754-1820）の制作したスラブ・セリフ体は「エジプシャン」と名づけられ、ロバート・ベズリによる「ランドン」は一八四五年にイギリスのファン・ストリート活字鑄造所でうまれた。

### ▽Pisces \*Kinkido version of Clarendon



- 15
- 16
- 18
- 19
- 20

サン・セリフ体

サン・セリフ体が本格的に印刷用活字書体として使用されるのは一八三〇年代だ。キャズロン活字鑄造所では古代ギリシャを意味する「ドーリック」と呼んでいたが、ヴァインセント・フィギンズ（一七六六―一八四四）が一八三二年に「サン・セリフ」と名をつけてから、サン・セリフ体として定着したようだ。

ウイリアム・ソローグッド（？―一八七七）は「グロテスク」と名づけている。一八九八年にドイツ・ベルリンのベルトルド活字鑄造所が製作した活字書体が「アクチデンツ・グロテスク」だ。

アメリカでは一八三七年にボストン活字鑄造所が「ゴシック」という名前をつけた。アメリカ活字鑄造会社のモリス・フラワー・ベントン（一八七二―一九四八）は、一九〇五年に「フランクリン・ゴシック」を発表している。

▽Sagittarius \*Kinkido version of Akzidenz Grotesk

イギリスでは、碑文彫刻家のエリック・ギル（一八八二―一九四〇）がサン・セリフ体「ギル・サン」を設計し、一九二八年に発表されている。

ドイツでは、パウエル・フリードリヒ・アウグスト・レンナー（一八七八―一九四八）による「フツラ」と、ルドルフ・コッホ（一八七六―一九三四）による「カーベル」がある。

ヘルベルト・バイヤー（一九〇〇―八五）は、「ユニヴァーサル」を一九二五年に設計している。

▽Capricornus \*Kinkido version of Gill Sans

第二次世界大戦後になると、サン・セリフ体はスイス・スタイルのデザイナーの支持を集めた。一九五七年にマックス・A・ミーディング（一九〇一―八〇）が設計した書体はラテン語でスイスを意味する「ヘルヴェチカ」と改称された。

同じ一九五七年に発売された「ユニヴァース」は、アドリアン・フルティガー（一九二八―）によって制作された。

一九五八年にドイツのステンペル活字鑄造所から発売された「オプティマ」は、ヘルマン・ツァップ（一九一八―）によってデザインされた。

▽Aquarius \*Kinkido version of Helvetica

Aries Medium

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[¥]^\_`{|}~

, . : ; ? ! ' ` " ^ \_ - / \ ~ || | " "

+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ' " °C ¥ \$ % # & \* @ §

€ ∃ ⊆ ⊇ ⊃ ⊄ ∪ ∩ ∆ ∇ ⇒ ⇔ √ ∞ ∴ ∫ ∫ Å % † ‡ ¶

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z

a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z

Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω

α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω

А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я

а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я

Sagittarius Bold

**ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ**

**abcdefghijklmnopqrstuvwxyz**

**0123456789!"#\$%&'()\*+,-./:;<=>?@[¥]^\_`{|}~**

**, . : ; ? ! ' ` " ^ \_ - / \ ~ || | " "**

**+ - ± × ÷ = ≠ < > ≤ ≥ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ' " °C ¥ \$ % # & \* @ §**

**€ ∃ ⊆ ⊇ ⊃ ⊄ ∪ ∩ ∆ ∇ ⇒ ⇔ √ ∞ ∴ ∫ ∫ Å % † ‡ ¶**

**0 1 2 3 4 5 6 7 8 9**

**A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z**

**a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z**

**Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω**

**α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω**

**А Б В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ Ъ Ы Ь Э Ю Я**

**а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я**

Libra Medium prototype

*CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.*

*The quick brown fox jumped over the lazy dogs.*

*3+84+975=1062*

Scorpio Medium prototype

*CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.*

*The quick brown fox jumped over the lazy dogs.*

*3+84+975=1062*

Sagittarius Medium prototype

CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.

The quick brown fox jumped over the lazy dogs.

3+84+975=1062

Capricornus Medium prototype

CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.

The quick brown fox jumped over the lazy dogs.

3+84+975=1062

Aquarius Medium prototype

CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.

The quick brown fox jumped over the lazy dogs.

3+84+975=1062

Pisces Medium prototype

CWM FJORD BANK GLYPHS VEXT QUIZ.

The quick brown fox jumped over the lazy dogs.

3+84+975=1062



# 活字書体としての 調和体

## 書法芸術における調和体とは

書道用語としての「調和体」とは漢字とかなを調和よく書いた書体という。書道は基本的に「漢字」「かな（和字）」「調和体」というジャンルで構成されている。調和体という名称は、尾上柴舟（一八七六—一九五七）によってはじめて唱えられた。これは「粘葉本和漢朗詠集」の書を基としたものである。すなわち、和漢朗詠集の漢詩の書体と和歌の書体を組み合わせて、別の漢字かな交じり文を書くという試みである。

第二次世界大戦後、調和体への関心が高まり、それぞれの立場において制作されることになった。調和体は、それぞれの会派によって呼び名が異なり、「新和様」とか「近代詩文」などとも呼ばれており、現在では「漢字かな交じり書」がその総称として使われている。現代の国語表記によって書かれた文面をそのまま書作品として書かれたものである。

## 明治時代の活字見本帖から

わが国の近代活字揺籃期の活字見本帖である『BOOK OF SPECIMENS』（『平野活版製造所 一八七七』）には、漢字書体・和字書体・欧字書体がそれぞれ明確にわけてられて掲載されている。

『活版見本』（東京築地活版製造所 一九〇三年）では、「四号明朝仮名交じり文」と「四号楷書仮名交じり文」の和字書体が同一のものである。『富多無可思』（青山進歩行堂活版製造所 一九〇九年）では「自叙」は四号楷書体活字、「跋」は四号明朝体活字で組まれているが、和字書体は共通のものである。このように日本語の文章においては、和字書体は同じでも漢字書体がかわるイメージがかわるので、ひとつの和字書体を複数の漢字書体と組み合わせているのである。

これと逆に、明朝体というひとつの漢字書体に対して複数の和字書体が制作されている例もある。字数の少ない和字書体をかえることにより日本語書体の多様化をはかるといえるものである。

## 漢字・欧字書体の伝来と和字書体

●漢字書体は中国から伝来した

江戸時代にわが国に明朝体による刊本がもたらされ、南京国子監本『南齊書』の覆刻した和刻本『南齊書』、楞嚴寺版『嘉興藏』を覆刻した鉄眼版『一切経』などのように、覆刻によって定着していった。

近代明朝体も、上海・美華書館の活字が長崎の崎陽新塾活字製造所にもたらされたものである。これは東京築地活版製造所などに引き継がれた。わが国の明朝体活字は、すべてが東京築地活版製造所のもを源としているといえる。

漢字は中国から輸入したものであり、漢字書体も多くは中国から導入されたものである。中国の刊本字様は明朝体だけではなく、宋朝体・元朝体・清朝体もまた、それぞれの時代に中国から伝来している。

近代の宋朝体活字も、上海中華書局の聚珍微宋版は、わが国では名古屋・津田三省堂が導入して「宋朝体」とよんだ。おなじく津田三省堂で輸入した正楷書体は、もともと上海・漢文正楷印書局で制作された書体である。

●欧字書体は欧米から輸入した

欧字書体は欧米から輸入された。ふるくは安土桃山時代の「キリシタン版」、江戸時代後期の「出島版」などにもちいられた欧字書体がある。前述の『BOOK OF SPECIMENS』にも、すでに数多くの欧字書体が掲載されている。

一八九〇年ごろから一九二〇年ごろの間には、アメリカ活字会社（ATF）の制作による活字を中心にして、今日みられるような多くの欧字書体の活字が輸入されている。

日本語の文字列のなかには欧字が日常的にはいり込んでいる。欧字書体は欧米に数多くの優れた書体があるので、和欧混植ということがおこなわれてきた。

●和字書体は日本で作られた

日本語書体は漢字書体を中心で、和字書体・欧字書体は従属されていると考えている人が多い。これは書体の名称にもあらわれており、漢字書体である明朝体、宋朝体などとよばれていた。「明朝体の和字」「宋朝体の和字」とよばれることには違和感をおぼえる。

漢字は英訳すればあきらかなように「Chinese Characters」、すなわち中国文字なのである。和字はもともと漢字からつくられたのであるが、けっして漢字に従属するものではない。「Japanese Characters」、すなわち和字ということばを使う所以である。

現代の日本語では、漢字と和字というまったく性格の異なる文字体系を混在させて文章を組みあげている。中国で設計された漢字書体にたいし、和字書体は日本で歴史をきざんできたのである。

明朝体と併用されている和字書体は「明朝体の和字」ではなく、独立した書体であり、明朝体と混植されているのである。

## 和字・漢字・欧字書体の混植

●漢字と和字

現代日本語の表記は、漢文訓読文から発展したと考えられる。もともと漢字カタカナ交じり文であり、漢語や語幹を漢字で書くという文章の構造から、漢字を軸として和字や欧字を交えると考えられる。近代金属活字が伝来した明治時代以降においては、中国でデザインされた漢字書体に調和するように日本で和字書体を合わせてきた歴史がある。

日本語の表記が日本古来の和語（やまとことば）に外来語である漢語をまじえたものだということもできる。書体としての和様・御家流はすたれたが、和語を和字で書き、漢語を漢字で書くというのが基本とすることもできるのではないだろうか。活字書体においては、和字書体を基幹として、和字書体に調和する漢字書体を選択することもできるのである。

●和字書体に独立した名称を

中国で設計された漢字書体にたいし、和字書体は日本で歴史をきざんできた。和字はもともと漢字からつくられたが、平安時代から千二百年以上にわたって日本で使われてきた。けっして漢字に従属するものではないのである。

当然のことながら、中国語においては漢字だけで文章が組める。欧米各国語においては欧字だけで文章が組める。わが国では漢字・和字・欧字を必要とするのであるが、わが国独自の和字書体をもっと大切にしたいと思うのである。

これまでしるしたように、和字書体も欧字書体に優るとも劣らない歴史を日本において刻んできてきた。その種類も遜色のないものであることがわかってきた。これらの書体がファミリーも含めて実用化されることにより、欧字書体にも負けない系統化された書体群が成立する。

そこで和字書体は漢字書体に従属するという考えから脱して、それぞれが独立した書体名称をもつことを提案したい。

●和字・漢字・欧字書体の混植

和欧混植ということは日常におこなわれている。同じように和漢混植が通常の方法として定着すれば、日本語の組み版もイメージがひろがっていく。すなわち和漢欧混植ということである。日本語の組み版においては、漢字・和字・欧字の書体の調和を考えることが大切なのである。

多くのタイポグラフィがあたりまえのように和漢欧混植をおこなうようになったときには、はじめてデザインーはデジタル・タイプを使いこなせるようになったといえるだろう。

和漢欧混植こそが日本語のタイポグラフィの基本であり、さらに深くデジタル・タイプの多様性を追求することが可能になるのである。

## 日本語総合書体へ

●活字書体の調和体——日本語総合書体

和字書体を中心に考えれば、組み合わせる漢字書体はいくつも考えられる。それによって多数の日本語書体ができることになる。また漢字書体を中心として考えれば、これまたいくつもの組み合わせが可能となる。

日本語書体として成立するためには、和字書体、漢字書体、欧字書体を選択する必要がある。あらかじめ組み合わせた日本語書体を開発しておいたほうが利便性は高いといえる。

さまざまな組合せの中から汎用性が高いとおもわれる日本語総合書体を開発するというのがタイポグラフィにとっても有効なのではないだろうか。

このような活字書体としての調和体——日本語総合書体が充実してこそ、二一世紀のタイポグラフィを実践できるステージができあがるのだ。

One summer day Alice was sitting on the riverbank with her older sister. Alice's sister was reading a book and Alice noticed that the book didn't have any pictures, which made Alice lose interest in it. Then as she looked out into the meadow, she saw something very peculiar. She saw a large white rabbit running past her looking at his watch saying "Oh dear! Oh dear! I shall be too late." Then he popped down a rabbit hole. Alice, being the curious girl she was, followed the rabbit down that hole and found herself in a land with many wonders. It was a wonderland. She met some interest-

欧字書体「Taurus Medium」

をどこもすなるにきといふものををむなもしてみむどとするなりそののしはすのはつかあまりひどひのいぬのときにかどですそのよしいさ、かものにかきつくあるひどあがたのよせいとせはて、れいのことゝもみなしをへてげゆなどとりてすむたちよりいで、ふねにのるべきところへわたるかれこれしるしらぬおくりすとしごろよくくらべつるひどびどなむわかれがたくおもひてひしきりにどかくしつゝの、しるうちによふけぬはつかあまりふつかにいづみのくにまでもとたひら

和字書体「きぎはしM」

此開卷第一回也作者自云曾歷過一番夢幻之後故將真事隱去而借通靈說此石頭記一書也故曰甄士隱云云但書中所記何事何人自己又云今風塵碌碌一事無成忽念及當日所有之子女一一細考較去覺其行止見識皆出我之上我堂堂鬢眉誠不若彼裙釵我實愧則有餘悔又無益大無可如何之日也當此日欲將已往所賴天恩祖德錦衣紉褲之時飮甘饜肥之日昔父兄教育之恩負師友規訓之德以致今日一技無成半生潦倒之罪編述一集以告天下知我之負罪固多然閨閣中歷歷有人萬不可因我之不肖自護已

漢字書体「金陵M」

外来語とは、ほかの言語から借用し自国語と同様に使用するようになった借用語のことです。日本語では、おもに西洋諸国からはいつてきた語彙をさしますが、広義には漢語もふくまれます。

洋語とは西洋語を起源とする外来語で、それを見あわせるなどして日本で作った語彙をふくみます。現在では一般にカタカナで表記されます。ふるくは十六世紀にポルトガルからはいつてきたタバコ (tabacco) や、江戸時代にはスペインからはいつてきたガラス (glass) などがあります。本格的に洋語が日本にはいつてきた明治時代以降では、英語からのトンネル (tunnel) や、ドイツ語からのカルテ (karte)、フランス語からのデッサン (dessin) など、多くの洋語があります。

漢語は中国古来の漢字音をもちいた語彙で、日本で独自につくられた漢語もあります。漢語は日本語における借用語の一種ですが、その影響がきわめておおく日本語の根幹にかかわるものであったため、おおくの日本人は漢語を外来語とはまったく意識しないでもらっています。

日本語総合書体「きぎはし金陵M」

● 欣喜堂日本語総合書体

総合書体のファミリー名は、和字書体名+漢字書体名でできています。これは、それぞれ独立した書体を組みあわせていることを明確にするためである。

たとえば、「きぎはし金陵M」は、和字書体の「きぎはしM」と漢字書体の「金陵M」とでできていることをあらわしている。欧字書体の「Taurus Medium」も入れるべきなのだが、それでは長くなりすぎるので省略している。

現在計画中の欣喜堂日本語総合書体は次の三六書体である(予告なく変更する可能性あり)。なお、スタイル名のM、Bはウエイトをあらわしている。

- 「もとい龍宋M」「もとい龍宋B」
- 「さきがけ龍爪M」「さきがけ龍爪B」
- 「かもめ龍爪M」「かもめ龍爪B」
- 「ひふみ陳起M」
- 「にしき陳起M」
- 「こみなみ陳起M」
- 「ばてれん志安M」
- 「げんろく志安M」
- 「ひさなが志安M」
- 「あおい金陵M」「あおい金陵B」
- 「きぎはし金陵M」「きぎはし金陵B」
- 「さおとめ金陵M」「さおとめ金陵B」
- 「たおやめ武英M」
- 「はくと武英M」
- 「あずま武英M」
- 「はなぶさ螢雪M」
- 「まどか螢雪M」
- 「さくらぎ螢雪M」
- 「くらもち銘石M」「くらもち銘石B」
- 「くれたけ銘石M」「くれたけ銘石B」
- 「くろふね銘石M」「くろふね銘石B」
- 「みなもと方広M」「みなもと方広B」
- 「たまゆら方広M」「たまゆら方広B」
- 「ことのは方広M」「ことのは方広B」





# 欣喜堂「ほしくずや・コレクション」

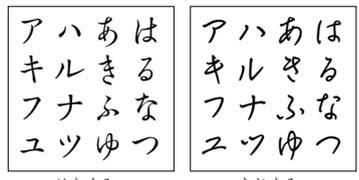
中国の漢字書体と、欧米の欧字書体との混植を想定した和字書体の新しい波

世界に目を向けると、中国ではすぐれた漢字書体が充実しつつあり、欧米にはすぐれた多くの欧字書体があります。

わが国は古来、中国から漢字書体を、欧米から欧字書体を輸入してきました。これらの欧字書体、漢字書体と組みあわせて、日本語組み版をつくってきた歴史があります。

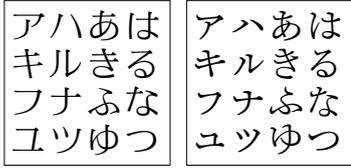
日本語の活字組み版をつくるには、日本の和字書体が必要となります。日本の活字書体設計者が取り組むべきは和字書体だと考えています。

欣喜堂「ほしくずや・コレクション」は、そういったグローバルな視点から、中国の漢字書体、欧米の欧字書体との混植を想定した和字書体のコレクションを、再構築しています。



はなぐみ

きじまる

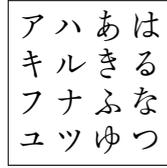


せいも

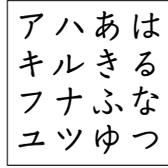
ときわぎロマンチック



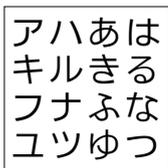
ときわぎクラシック



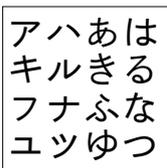
ゆきぐみ



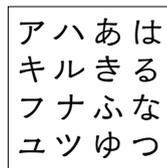
いぬまる



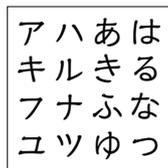
てんが



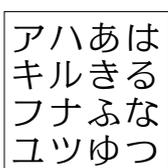
ときわぎゴシック



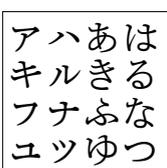
つきぐみ



きるまる



ウダイ



ときわぎアンチック

ほしくず・ラウンド  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
ほしくず・テキスト(こまめ)  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
ほしくず・カーシザ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ  
はるなつあきふゆ  
ハルナツアキフユ

# 欣喜堂「カスタム・メイド」

株式会社タイプバンクの「伝統書体シリーズ」にマッチングされている和字書体、フォントワークス株式会社の「マテイス・ファミリー」にマッチングされている和字書体など、各社からのオーダーを受けて原字を制作しております。また、小学館「例解学習国語辞典」第九版のための「小学館アンチック」(左の書体)のような専用書体も制作しております。

あいうえお アイウエオ  
かきくけこ カキクケコ  
さしすせそ サシスセソ  
たちつてと タチツテト  
なにぬねの ナニヌネノ  
はひふへほ ハヒフヘホ  
まみむめも マミムメモ  
や ゆ よ ヤ ユ ヨ  
らりるれる ラリルレロ  
わるんゑを ワキンヱヲ

## TYPEKIDS

TYPEKIDSは、活字書体設計者とタイポグラファー、ライターによる勉強会であるとともに、ゆるやかな活動体でもあります。TYPEKIDS Libraryなど、いくつかのプロジェクトがすすめられています。

欣喜堂の多彩な電子活字書体でまるごと組まれた電子書籍を所蔵する図書館です。書体制作サイドでは、一冊の書物まるごとを組み見本として提供できることになりま。タイポグラファーからみれば、活字組み版を実験したり挑戦する機会を得ることができます。

\*本カタログに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。  
\*製品の仕様は予告なく変更することがあります。

# 欣喜堂オーブン・タイプ 購入のご案内

日本語総合書体  
和字書体・漢字書体・欧字書体をあらかじめ組みあわせて、現代日本語の組み版を可能にしたものです。  
OpenType Std版ですが、半角字形や単位記号などは収録されておりません。ご購入にはコンパクト・ディスク版のほか、ダウンロード方式もご用意しています。ダウンロード方式では一書体からご購入できます。直販はありませんので、左記の販売店でお求め願います。

和字書体  
ひらがな・カタカナ・約物の書体です。漢字、欧字は含まれておりません。日本語総合書体の漢字、欧字と組みあわせることにより、現代日本語の組み版を可能にしたものです。直販はありませんので、左記の販売店でお求め願います。

漢字書体(中文字体)  
北京北大方正電子有限公司との提携により、中国語フォントとして開発されていきます。なお、中文字体としての著作権は、北京北大方正電子有限公司が所有しています。

欧字書体(ラテン・アルファベット)  
欧字書体単体での販売はありません。

コンパクト・ディスクによる販売  
robundo type cosmique 株式会社朗文堂  
<http://www.robundo.com/type-cosmique/index.html>

ダウンロードによる販売  
designpocket 株式会社デザインポケット  
<http://designpocket.jp/>  
Aflo Mall 株式会社アフロ  
<http://mall.aflo.com/font/>  
Font Grange 加賀電子株式会社  
<http://font.designers-garage.jp/>  
Font Factory 株式会社グッドファーム・プランニング  
<http://www.fontfactory.jp/>  
DL-MARKET シーズネット株式会社  
<http://www.dl-market.com/>

欣喜堂 (有限会社今田欣一デザイン室)  
350-2222 埼玉県鶴ヶ島市下新田184番地9  
Telephone 049-286-8654 Facsimile 049-286-8624  
<http://www.kinkido.net/> info@kinkido.net